

GMSS

# 防災会だより

2015年11月

Vol. 16



写真で振り返る

GMSS 防災訓練 2015

# GMSS

## 新しいチャレンジ！

### 委員長



今回の防災訓練に大変多くの方が参加されたことについて、まずは心より感謝申し上げます。安否確認訓練については、実に8割近い世帯の方々が参加されました。安否確認は共助の第一歩であり、手順等が浸透してきたことは、本当に喜ばしいことだと思います。

今回の訓練では、以下の2点について、新しい取組としてチャレンジしました。

- ① 管理センターの初動・本部設営等を含めた、震災発生後初動訓練の実施
- ② 棟防災委員が中心となって運営する個別訓練の実施

GMSS 全体の状況を把握し、情報を統制しつつ次のアクションを決定する本部が、震災後速やかに立ち上がり機能するか否かは、このような規模のマンションでは重要なことです。実際に訓練を通じて、本部の立ち上げと運営を経験した人が増えることで、GMSS 全体としての初動が安定したものになっていくことと思います。一方、たとえば全館放送は訓練前に周到な準備のうえ実施しており、本番を考えるとまだまだ改善が必要です。

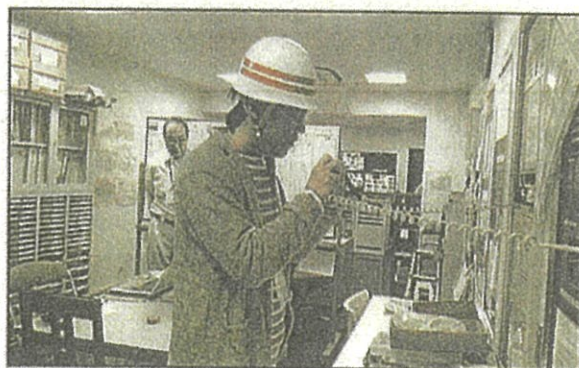
次に、棟ごとに実施した個別訓練ですが、自助力、共助力の向上を目指して、住民の皆さまにとって、より身近なメニューを準備させていただきました。様々な設備や備品を使う機会となったとともに、同じ棟同士ということから和気あいあいと訓練することができたように見受けられます。このようなご近所同士の関係が、いざというときには何よりも大切でもありますので、来年度以降の訓練でも継続したいと思います。

なお、今回の訓練の結果、多くの課題が浮き彫りになっておりますが、これらは防災委員会にて継続検討を行い、主な事項については順次報告させていただきたいと思っております。

最後に、スタッフや指導者として参加された全ての皆様に、改めて御礼を申し上げます。

## 防災訓練を振り返る

10月18日の午前9時、地震発生を知らせる全館放送から今年の防災訓練はスタートしました。今年から管理センターに勤務する管理人も訓練に参加。管理センターやマンション出入口に「入口封鎖」の掲示がされ、本番さながらの体勢で臨みました。次ページより写真で防災訓練を振り返り、GMSSの防災体勢を復習するとともに次年度以降の課題について考えてみたいと思っております。



訓練指示する

※ 表紙の図は、GMSSの新しいロゴとして、これから様々な場面で使用していきます。

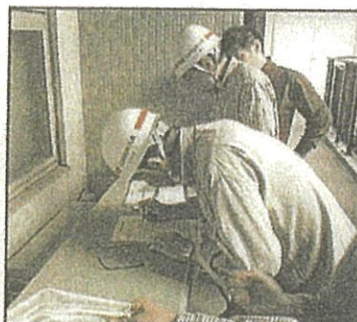
# 全体訓練 ~ Training for all residents ~



ステッカーで安否を知らせましょう

フロア担当による安否確認

**安心してください、無事ですよ。**

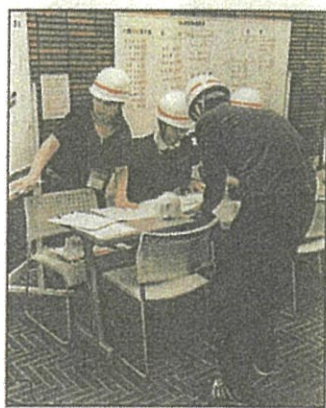


多くの方が集まったエレベーター前集合

フロアごとに集計

みんな無事です

**ご近所の安否確認できましたか？**



防災委員の安否確認結果報告

本部での集計

集計が終わって全体訓練締めくくり

**77% の世帯が無事でした**

# 個別訓練

~ Individual training ~

## 7・8号棟担当 消火器訓練



家庭にある消火器で消火！

今年から導入した訓練用の水噴射クンレンダーで消火！

## 2号棟担当 AED 緊急搬送・救命訓練

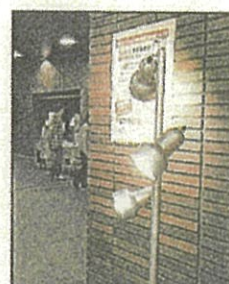


AED を持ち疾走する中学生

滑車を使って AED を釣り上げる

搬送した AED で救命訓練

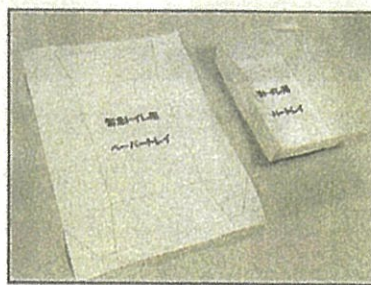
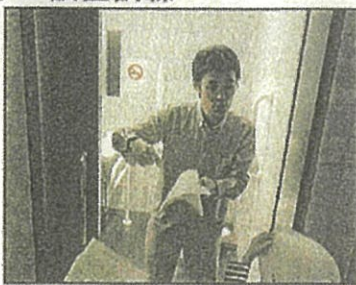
## 3号棟担当 非常用照明設置訓練



エントランスホールに LED 照明を設置

電源は非常用電源エネポで発電して供給

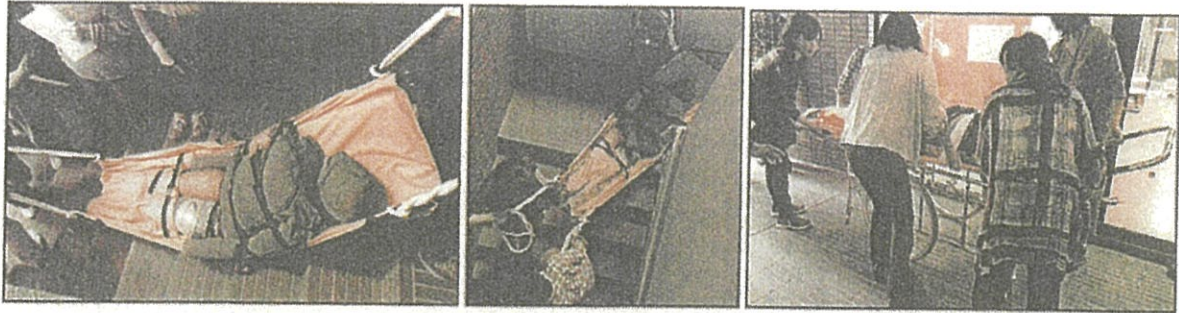
## 4号棟担当 非常用トイレ設置訓練



おがくずの代わりにシュレッダー紙を使用

使い捨てトイレのトレイ型紙

5・6号棟担当 緊急搬送訓練



レスキューキャリアマットを使い、女性だけで搬送できました

1号棟担当 井戸水汲上げ・搬送訓練



井戸水を汲上げ、千川通りを1号棟まで運びます

救命講習を受講したみなさんが担当 応急手当・搬送訓練



救命講習では詳細は扱わない、止血法を中心に訓練しました 人力車椅子を用いた搬送

10月18日の防災訓練で  
災害対応訓練 AWPY 終了後  
様ごとの個別訓練に続き  
KMSSSの応急手当講習  
有識者の指導による  
訓練が行われました。

応急手当 & 搬送訓練

10月19日 ~ 13日

災害対応訓練 AWPY 終了後  
様ごとの個別訓練に続き  
KMSSSの応急手当講習  
有識者の指導による  
訓練が行われました。

← 応急手当訓練  
ポスター

止血で威力を発揮  
ヘモスタッド  
説明掲示 →

<p>止血を容易にする プラスネイスト ヘモスタッドの紹介</p> <p>60分担当委員会</p>	<p>緊急時でも迅速に実施し、 応急手当の重要性を伝える 応急手当の重要性を伝える 応急手当の重要性を伝える</p>	<p>止血の仕組みと種類 止血の仕組みと種類 止血の仕組みと種類</p>
<p>ヘモスタッドとは...</p>	<p>ヘモスタッドの使用方法</p>	<p>ヘモスタッドの応用</p>
<p>応急手当の重要性</p>	<p>応急手当の重要性</p>	<p>ヘモスタッドの購入方法</p>

# こども避難所・広報・情報発信

～ Kids care and Public relations ～

## こども避難所と非常時の連絡手段



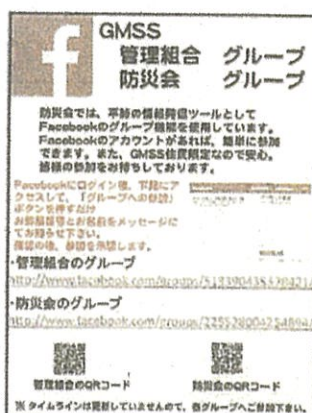
こども避難所の案内

らくらく連絡網の案内動画

## 防災広報



防災会だよりで振り返る「防災会のあゆみ」



Facebookでの情報発信のお知らせ

## 荻窪消防署長の講評

10月1日に荻窪消防署に就任した 〇〇〇〇 です。9時から訓練の様様をつぶさに拝見させていただき本当にびっくりしました。防災会の皆様がそれぞれの役割分担をきちんと果たし訓練を進めておられ、ここまでのレベルに達するには、相当の準備と積み重ねがあったとおもい、そのご努力に感心いたしました。

消防として集合住宅対策で特に注目していることは、震災時の安否確認です。「無事ですシート」を掲示し連絡できる家庭はいいのですが、掲示がない世帯の安否をどのように確認するかその対策を具体的に進める必要があります。火災や震災時に被災者の命を救うためには、その家に何人いたかを確認することが極めて重要です。なかでも家具の下敷きなどの怪我で連絡できないケースも想定されますので、各家庭での家具転倒防止対策の徹底を特にお願いします。



## 防災訓練を振り返って

## 防災訓練実施委員長

### ・『勝って兜の緒を締める』

今回の防災訓練は、新任の防災委員の方々それぞれが持ち味を発揮し、個性豊かなものとなったことはご同慶の至りです。

東京消防庁による今年度最優秀団体としての消防総監賞の受賞決定も本訓練の成功に花を添えるものとなりました。ではこれで万全の体制が整ったのかと言えば、まだまだの段階です。個々の訓練、なかんずく「安否確認の一層の質の向上」を目指していかなければなりません。「徹底した安否確認の実現」はGMSS防災会が目指す究極の目標であると考えております。そのために過去3年間『訓練の為の訓練』を重ねて参りました。伝令ロープの開発、情報パック、安否確認情報の電子化、フロア担当マニュアル、居住者初動マニュアル等、用具・ソフトの充実ぶりは評価できるものです。何よりも大切なのは、この訓練を通して醸成されていく共助の精神、互いを思いやる気持ちの発露です。来年度、再来年度の訓練により一層多くの方々の参加を望む次第です。



### ・フロア組織・棟組織そして横断的組織

東京消防庁による表彰の最大の理由は、当初から取り組んだ『フロア組織の充実』でした。そして今年は、各棟毎の準備・運営による個別訓練を実施し、皆様の共感を得ることが出来ました。それぞれ欲ぶべき成果です。今年、特筆すべきなのは「応急手当・搬送訓練」に見られた、ボランティアの方々による初めての全棟横断的な組織です。短期間の準備でこの立派な成果を挙げて下さった関係者の皆様に厚く感謝を申し上げます。今後、様々な分野でこの種の横断的組織が求められて行くことでしょう。

『熱中する、夢中になる、そして何かが生まれる』、GMSS防災会が日本一の防災会として評価される日の到来は決して遠いものではありません。皆様次第です。

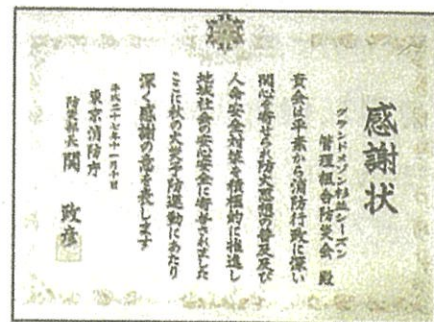
## 火災予防業務協力・功労者表彰



表彰される

そ

11月10日杉並公会堂で防火の集いが開催され「火災予防業務協力・功労者表彰式」が行われGMSS防災会に対し東京消防庁から感謝状が贈呈されました。防災会を代表して 長が頂きました。この感謝状は9月に荻窪消防署と合同で実施した初のマンション高層階火災訓練や日頃の防災活動に対し本庁の防災部長から贈呈されたものです。感謝状は2年前に荻窪消防署長からも頂いており、今回で2本目です。



## 防災訓練アンケートより

防災訓練に参加された方のアンケートより、今後の防災活動の改善点や考えなければならぬことがフォーカスされてきましたので、情報を共有します。

### ・ 防災訓練への参加回数

初めて(20%)、2回目(12%)、3回目(39%)、4回以上(29%)

5回目の防災訓練にあたる今回の訓練では、参加者の8割がこれまで複数回参加されていました。

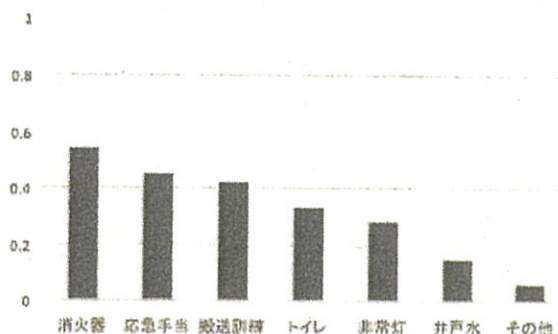


— 初めて  
— 2回目  
— 3回目  
— 4回以上

### ・ 今回の個別訓練で見学や体験したもの(複数回答)

消火器訓練(54%)、救急応急手当(45%)、緊急搬送訓練(42%)、災害用トイレ設置訓練(33%)、井戸水汲上げ・搬送訓練(15%)、非常灯設置訓練(28%)、その他(6%)

初期消火の実践、ついでケガをしたり病気になる人の手当や搬送といったところへの参加・見学者が多かったです。



### ・ 上記のうち一番関心があった訓練はどれですか？

災害用トイレ設置訓練(28%)、消火器訓練(20%)、救急応急手当(19%)、緊急搬送訓練(17%)、井戸水汲上げ・搬送訓練(10%)、非常灯設置訓練(7%)、その他(1%)

見学や体験した訓練で多く回答された訓練は関心も高いのですが、一番の関心事は震災時のトイレをどうするかということでした。



— トイレ  
— 消火器  
— 応急手当  
— 搬送訓練  
— 井戸水  
— 非常灯

### ・ 各フロアの安否確認訓練はどこまで参加しましたか？(複数回答)

無事ですシートを掲示した(97%)、エレベーター前に集合した(83%)、フロアを回って安否確認した(38%)、高齢や障害のある方を訪ねた(6%)、何もしなかった(0%)  
多くの方に全体訓練は参加いただきました。

### ・ 家具転倒防止対策をしていますか？

既に行っている(73%)、これからする(23%)、何もしていない(4%)  
アンケート回答者の家具の転倒防止対策は進んでいるという結果でした。



## いただいたご意見より



### 1、自助の情報提供

「防災グッズの販売情報」、「冷蔵庫の転倒防止対策法」、「防災食の簡単な作り方」、「災害時のトイレや水に関する情報」、「トイレの型紙が欲しい」、「震災体験者の体験談を聞きたい」といった情報提供を求める意見がありました。



### 2、PR・訓練に対する要望

「搬送の手順が意外と難しい」、「訓練の時間や場所が分かりづらかった」、「集合後に安否確認すべき（集合しても何もなかった）」、「手当に意外とコツがあることが分かった」、「トランシーバーの使用法のマニュアル化」といった広報や訓練へのご要望がありました。



### 3、実際の震災が起きた際に、訓練通りのことができるか？

「余震で設置したスタンドライトが倒れないか」、「子供だけしかいない想定での訓練の必要性」、「地震の際に地下水が止まることを想定すべき」、「余震の中でホールへ集合ができるのか」といった想定されていないことに対処できるのかといった意見がありました。

防災委員会では、皆様の意見をふまえ、来年の防災訓練に向けて対応を検討しています。広報の強化やGMSS独自の内容を中心とした新しい「震災マニュアル」の作成を考えております。また、訓練についても様々な場面を想定して立案しています。今後、現在の訓練の定着具合を見ながら改善あるいは新たな想定を加えた訓練の実施を検討していきたいと考えています。

最後に、多くの参加者の皆様から、有意義な訓練だったということと共に、訓練の遂行に際してお手伝いいただいたスタッフのみなさんへの感謝の言葉が綴られていました。これらはスタッフ全員の活動への大きな励みになります。改めて皆様へ感謝申し上げますとともに、今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

## 第12回地域の防火防災功労賞 最優秀賞受賞

前号にてお知らせいたしましたが、このたびGMSS防災会は第12回地域の防火防災功労賞の最優秀賞（消防総監賞）を受賞することになりました。GMSSの防災に対する取組みが各方面から評価されつつあります。本受賞に関しては、東京消防庁のホームページに発表されています。

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/life/boutopic/koroshou/senkou.html>



GMSS防災委員会・荻窪消防署共催

受講者募集

第1回



# 救命講習会

9月7日(土)午後1時~4時

講習会場: マルチルーム

ご家族の命を守るために救命講習を受けましょう。  
受講者に“救命技能認定証”が交付されます。

テキスト代受講料無料! 普通講習3時間コース

心肺蘇生

止血法

AED

気道異物除去



定員15名・多数抽選 締切り 9月2日  
用紙に救命講習希望・氏名・住居番号を記入し  
メールルームの「回収箱」に投函してください。